

●西郷四郎

慶応二年	一八六六
明治二年	一八六九
明治五年	一八七二
明治十四年	一八八一
明治十五年	一八八二
明治十六年	一八八三
明治十七年	一八八四
明治十八年	一八八五
明治十九年	一八八六
明治二十一年	一八八八
明治二十三年	一八九〇
明治二十五年	一八九二

二月四日、会津藩士志田貞二郎の三男として生まれる。

この頃、津川町角島に移住。

九月、父貞二郎死去。

母校津川小学校で代用教員となる。

三月上京、八月講道館に入門。

富田常次郎と共に初の初段位を受ける。

保科近恵ちかのり（西郷頼母）の養子となる。

三段位をとばし四段位を受ける。

警視庁武道大会で照島太郎を山嵐でたおす。

西郷家再興、西郷四郎となる。

六月、講道館を去る。

津川に帰省、講武館をつくる。